

DRV-D50W

前後録画対応 2 カメラドライブレコーダー

ユーザーズガイド

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、このユーザーズガイドをよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

もしものときは！！

必要な録画/記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフにして microSDカードを取り出して
ください。

microSDカードについて

本機をご使用前に「microSDカードについて」を
お読みください。

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報など
本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>



FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。
本書の「故障かなと思ったら」と合わせて
こちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



目次

はじめに

本書の見かた	4
ドライブレコーダー機能ガイド	5
安全上のご注意（必ずお読みください）	7
内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）	7
取り付けや配線について	8
使用方法について	9
異常時の問い合わせ	10
使用上のご注意	11
microSDカードについて	12
各部の名称とはたらき	14
メインユニット	14
リアカメラ（車外後方撮影用）	16
操作ボタンとアイコンについて	17

取扱説明

ご使用前に	18
電源をオン/オフする	18
microSDカードを入れる/取り出す	18
microSDカードをフォーマットする	19
録画する・写真を撮影する	19
メインユニットとリアカメラの映像を切り替える	19
録画・撮影画面のアイコン	20
常時録画	20
イベント記録	21
駐車録画	22
駐車録画機能をオンにする	22
録画時間の目安	25
写真を撮影する（静止画記録）	27
フォルダ/ファイル構成	28
再生する	29
ファイル選択画面のアイコン	29
ファイルを再生する	29
再生メニューの操作	30
運転支援機能を使う	31
運転支援機能についてのご注意	31
リアカメラのカメラ位置を調整する	32
運転支援機能をオン/オフする	33
設定を変更する	34
各機能の設定を変更する	34

メニューの一覧	35
LCD表示時間の設定を変更する	39
microSDカードをフォーマットする	39
パソコンツールを使う	41

付録

故障かなと思ったら	42
表示メッセージと音声ガイド	46
LCD画面について	48
商標について	48
ソフトウェアについて	49
ソフトウェア使用許諾契約書	51
主な仕様	53



MEMO

はじめに

取扱説明

付録

本書の見かた

表記	説明
➡ 「各部の名称とはたらき」 (P. 14)	本書の参照するページを表しています。
「音声記録設定」	本機に表示されるメニュー名を表しています。
[] (上から2番目)	本機のボタンを表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属のmicroSDカードにメインユニットと車外後方撮影用カメラ（以下リアカメラ）の映像および写真を、LCD画面の表示に関係なく同時に記録保存します。必ずmicroSDカードを挿入してお使いください。

ご購入時、本機にmicroSDカード（32GB）が挿入されています。

microSDカードの入れかたについては「microSDカードを入れる/取り出す」（P. 18）をご覧ください。

■ 録画機能について

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にしている間は、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます（常時録画）。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します（イベント記録）。

また、駐車中は本機に大きな衝撃または動体を検知すると、検知前後の映像を録画します（駐車録画）。イベント記録の衝撃検知、駐車モードの衝撃検知および動体検知はメインユニットのみで機能します。

● 「常時録画」 (P. 20)

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



● 「イベント記録」 (P. 21)

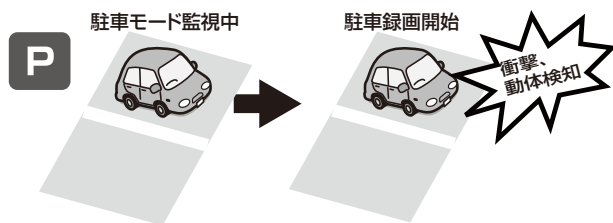
本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント記録に切り替わり、イベント記録ファイルを「Event」フォルダに保存します。




● 「駐車録画」 (P. 22)

駐車中（エンジンスイッチをオフ）に本機が監視を行い、衝撃または動体を検知すると駐車録画を開始します。

- ・ 駐車録画を使う場合は「駐車モード設定」を必ず「オン」にしてください。→「駐車録画機能をオンにする」（P. 22）



イベント記録の手動録画


常時録画中に本機の【】（上から4番目）ボタンを押すと、イベント記録の手動録画を開始します。

手動録画が終了すると常時録画に戻ります。

➔「イベント記録を手動で開始する（手動録画）」（P. 21）



写真撮影（静止画記録）

録画中に本機の【】（上から3番目）ボタンを押すと、写真を撮影します。➔「写真を撮影する（静止画記録）」（P. 27）



■ 運転支援機能について

本機には後方急接近警告の運転支援機能があります。

運転支援機能については事前に本機の調整と設定が必要です。➔「運転支援機能を使う」（P. 31）

■ 音声ガイド機能について

エラーメッセージなどを警告する際、LCD画面へのエラー表示だけでなく、音声でも警告をお知らせします。

■ SDメンテナンスフリー機能について

本機はmicroSDカードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。

そのため定期的なフォーマット（初期化）は不要です。ただし、付属のmicroSDカードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。

■ リアスモークガラス調整機能について

本機はリアスモークガラスの濃さに合わせて、録画映像の明るさを調整できます。➔「録画設定」（P. 36）の「明るさ」

■ STARVIS™について




本製品には、夜間などの暗い場所でも明るく撮影できる、裏面照射型画像技術「STARVIS」を採用したCMOSイメージセンサーを搭載しています。

安全上のご注意（必ずお読みください）




- **本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。**

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・ 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・ 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる
発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける
けがや事故の原因となります。

取り付けや配線について

警告



本機はDC12V/24V⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因となります。DC12V/24V⊖アース車以外で使用しないでください。



エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。



取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。



視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。



本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。



作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。








必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。






コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。







-  **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
-  **コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
-  **取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる**
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
-  **ネジなど小物部品やmicroSDカードは乳幼児の手の届かないところに置く**
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
-  **本機に付属の電源コードを使用する**
付属以外の電源コードを使用すると、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

-  **水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない**
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
-  **機器の通風口や放熱板をふさがない**
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
-  **コードの扱いに注意する**
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告

-  **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
-  **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
-  **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。
-  **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
-  **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
-  **雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない**
落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼ください。

注意



本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する
本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたり使用を中止する
機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

■ 取り付けについて

誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度などは取扱説明書を参照して本機を正しく取り付けてください。

■ ご使用について

- ・ もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画したmicroSDカードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。
→ 「再生する」 (P. 29)
→ 「パソコンツールを使う」 (P. 41)
- ・ カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・ 車両のフロントガラス/リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・ 本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の底面にあるRESETボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。
→ 「RESETボタン」 (P. 16)
- ・ LED信号機の色が認識できなかったり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本製品は、あらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。

■ 電源について

本機の動作電源電圧はDC12V/24Vです。必ず付属の電源ケーブルを使用し接続してください。ケーブルの改造（バッテリーに直接つなぐ）などは絶対に行わないでください。

■ 内蔵バッテリーについて

- ・ 本機は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。
- ・ 購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を1～2時間オンにして充電してください。

■ 衛星受信について

- ・ 衛星信号は、固体物質（ガラスを除く）を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物（例えば、樹木、高架橋または高層ビル）などの影響を受ける可能性があります。

■ 本機のお手入れ

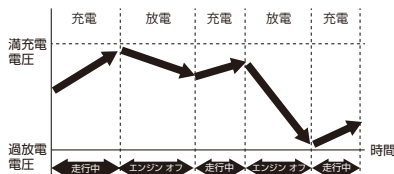
- ・ 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・ レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。強くこすると傷の原因になります。
- ・ ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどがないことを確認してからご使用ください。

■ 個人情報について

- ・ microSD カードに記録されるファイルには、ご自身や同乗者および車外に撮影された第三者に関わる映像や音声、位置情報などの個人情報が含まれています。本機を廃棄/譲渡する場合は、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。個人情報の消去は、「個人情報削除」(P. 38)で行うことができます。当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本機の個人情報消去機能はmicroSDカードに記録されたすべてのデータを消去しますが、消去したmicroSDカードから元のデータが復元されないことを完全に保証するものではありません。データをより確実に読み出せないようにしたい場合は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

■ 駐車録画について

- 本機は車両の電源を常時使用しているため、車両のバッテリーに対して負荷がかかります。長期間車に乗らない場合や短距離の運転を繰り返すと、車載機器の消費電力により徐々にバッテリー電圧が低下してしまいます。(下図)バッテリー上がりを予防するために、こまめに車のエンジンをかけてバッテリー電圧が下がらないように心がけてください。



- 車両に取り付けられた他の電装品の暗電流や使用環境によってもバッテリーに負荷がかかり、バッテリー上がりを起こす原因となります。本機の電圧カットオフ値を設定する際にはご注意ください。➡【駐車モード】(P. 35)
- 車両のバッテリー上がりについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードについて

■ 本機で使用するmicroSDカード

- 同梱microSDカード (32GB A2)
- 当社推奨microSDカード
- 以下の仕様を満たすmicroSDカード

容量	16GB~128GB
アプリケーションパフォーマンスクラス	A1以上

- すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。

■ 当社推奨microSDカード

当社製microSDカード (別売品)

詳細はhttps://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/optionをご覧ください。

■ microSDカード使用上のご注意

- 市販のmicroSDカードを使用するときは、microSDカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しいmicroSDカードと交換することをお勧めします。
- microSDカードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- 本機はmicroSDカードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的な初期化は不要です。ただし、付属のmicroSDカードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。
- はじめて使用するmicroSDカード、また、パソコンなどでmicroSDカード内のファイルの変更や削除などをしたmicroSDカードを挿入するときは、microSDカードのフォーマット(初期化)が必要です。
- 本機はデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSDカードの仕様によって異なる場合があります。
- カメラなど、他の機器でmicroSDカードのフォーマット(初期化)を行うと、本機で正常に動作しません。microSDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。フォーマットできないmicroSDカードは使用できません。
- 分解や改造を行わないでください。

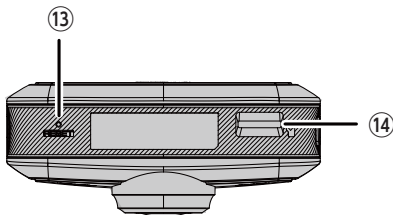
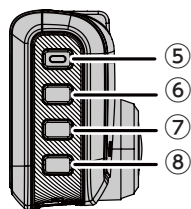
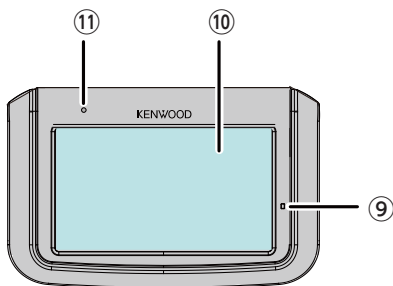
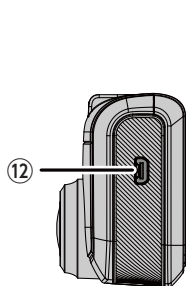
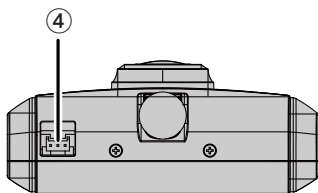
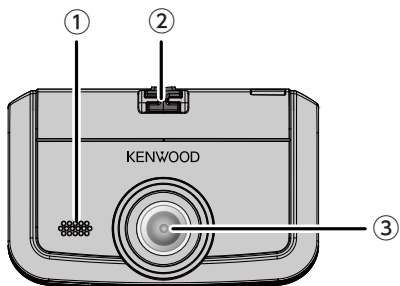
- microSDカードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。
- microSDカードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中にmicroSDカードを取り出さないでください。
- microSDカードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- 必要なファイルは必ずパソコンなどに保存（コピー）してください。
- microSDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードを着脱するときは、方向を確認し、折り曲げたり強い圧力や衝撃を与えたりしないでください。

■ ファイルについてのご注意

- microSDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存（コピー）してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。
- 本機のmicroSDカードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSDカード内のデータは完全に消去されません。
- microSDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

各部の名称とはたらき

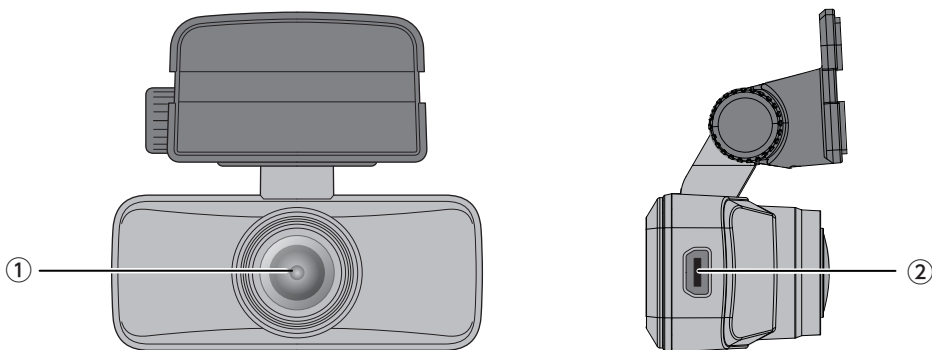
メインユニット



番号	名称とはたらき
①	スピーカー 音声ガイドや警告音、ファイル再生時の音声を出力します。 音量の設定については、「システム設定」(P. 37)の「システム音設定」、「音量設定」をご覧ください。
②	取付ブラケット挿入部 付属の取付ブラケットを取り付けます。取付方法は取扱説明書をご覧ください。
③	カメラレンズ 映像を広角レンズで撮影します。
④	電源入力端子 付属の電源ケーブルを接続します。接続方法は取扱説明書をご覧ください。
⑤	電源/メニュー/戻るボタン <ul style="list-style-type: none"> ・録画中に押す：メニューを表示します。 ・メニュー表示中に押す：戻るボタンとして機能します。 ・再生中に押す：キャンセル、戻る、または終了ボタンとして機能します。 ・押し続ける：2秒以上押し続けると電源をオフします。 もう一度押すと電源がオンになります。
⑥	画面切替/画面オフ/カーソル上移動ボタン <ul style="list-style-type: none"> ・録画中に押す：メインユニットとリアカメラの映像を切り替えます。⇒「メインユニットとリアカメラの映像を切り替える」(P. 19) ・録画中に押し続ける：画面表示をオフにします。 もう1度押すと画面表示がオンになります。 ・メニュー表示中に押す：カーソルを上移動します。 ・再生中に押す：前のファイルを再生します。 ・再生中に押し続ける：早戻しします。手を離すと再生に戻ります。
⑦	写真撮影/駐車モード設定切替/カーソル下移動ボタン <ul style="list-style-type: none"> ・録画中に押す：写真を撮影します。(駐車録画中、メニュー表示中など、画面にカメラアイコンが表示されていないときは写真を撮影できません。) ⇒「写真を撮影する(静止画記録)」(P. 27) ・録画中に押し続ける：駐車録画用の記憶域が、1/4、2/4、3/4の設定になっているときに、駐車モード設定のオン/オフを切り替えます。⇒「駐車録画機能をオンにする」(P. 22) ・メニュー表示中に押す：カーソルを下移動します。 ・再生中に押す：次のファイルを再生します。 ・再生中に押し続ける：早送りします。手を離すと再生に戻ります。
⑧	手動録画/決定ボタン <ul style="list-style-type: none"> ・録画中に押す：イベント記録を開始します。⇒「イベント記録を手動で開始する(手動録画)」(P. 21) ・メニュー表示中に押す：決定ボタンとして機能します。 ・再生中に押す：再生メニューを表示します。

番号	名称とはたらき
⑨	LEDインジケーター 本機の状態をお知らせします。 ・点灯（緑）：再生中、録画停止中、駐車録画待機中、メニュー表示中 ・交互点灯（緑/橙）：録画中
⑩	LCD画面 録画画面、再生画面、メニュー画面などを表示します。
⑪	マイク 録画中の音声を収録します。
⑫	リアカメラ接続端子 付属のケーブルを使ってリアカメラと接続します。接続方法は取扱説明書をご覧ください。
⑬	RESETボタン 本機をリセット（再起動）します。➡「ご使用について」（P. 11） RESETボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。
⑭	microSDカードスロット 録画用のmicroSDカードを挿入します。➡「microSDカードを入れる/取り出す」（P. 18） microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

リアカメラ（車外後方撮影用）



番号	名称とはたらき
①	カメラレンズ 映像を広角レンズで撮影します。
②	メインユニット接続端子 付属のリアカメラケーブルを使ってメインユニットと接続します。接続方法は取扱説明書をご覧ください。

操作ボタンとアイコンについて

■ 操作ボタン

4つのボタンの機能を画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画面画の一例:常時録画



- ① メニュー画面を表示します。
- ② メインユニットとリアカメラの映像を切り替えます。→「メインユニットとリアカメラの映像を切り替える」(P. 19)
 - ・ リアカメラが接続されています。
 - ・ リアカメラが接続されていません。
- ③ 写真を撮影します。
- ④ 手動でイベント記録を開始します。また、イベント記録中に [] (上から4番目) ボタンを押すと、前の記録が終了後にさらに20秒録画することができます。

メニュー画面の一例



- ① 1つ前の画面に戻ります。
- ② カーソルを上に移動します。
- ③ カーソルを下に移動します。
- ④ 決定します。

■ アイコン

本機の動作状態をアイコンで表します。

常時録画面画



- ① 録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
- ② 現在時刻を表示します。
- ③ 「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
「オフ」に設定したときは表示しません。
- ④ 「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。
「オン」に設定したときは表示しません。
- ⑤ GPSの受信状態を示します。
 - ・ : 信号レベル3
 - ・ : 信号レベル2
 - ・ : 信号レベル1
 - ・ : 信号レベル0
- ⑥ 現在の車速を表示します。
表示を消すことはできません。

ご使用の前に

ご使用の前に、角度調整ネジの緩み、両面テープのはがれなどが無いが、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

電源をオン/オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります（駐車録画機能がオフの場合）。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに [] (上から1番目) ボタンを2秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに [] (上から1番目) ボタンを押すと、電源がオンになります。



- エンジンスイッチがオフのときには手動で電源をオンにできません。

microSDカードを入れる/取り出す

microSDカードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、必ず以下の手順で「電源オフ」にした状態で行ってください。（駐車モード中はmicroSDカードを出し入れしないでください。）

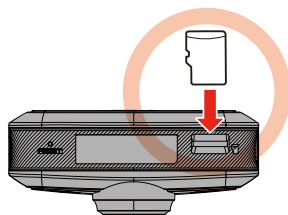
- 1 車両のエンジンスイッチを入れて、本機の電源をオンにする
- 2 「LEDインジケーター」(P. 16) が緑点灯または交互点灯(緑/橙)して「本機が電源オン状態」であることを確認する
- 3 本機の電源を手動でオフにする
- 4 LEDインジケーターが消灯状態であり「本機が電源オフ状態」であることを確認する
- 5 microSDカードを入れる/取り出す



- 駐車録画機能を使用の場合:
車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の [] (上から1番目) ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。駐車録画機能を動作させるためには、必ず一旦エンジンスイッチをオンにして、本機が起動したことを確認してから再度エンジンスイッチをオフしてください。

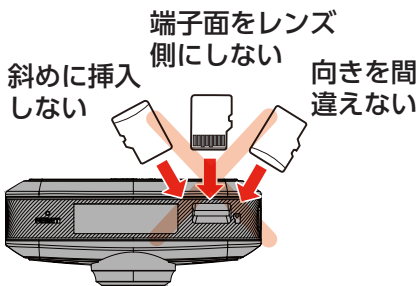
microSDカードを入れる

microSDカードをmicroSDカードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



microSDカードのロゴがある面をレンズ側にして、端子面から挿入する

● 間違った入れかた



- microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

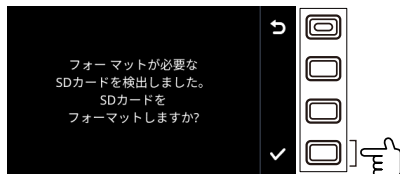
microSDカードを取り出す

microSDカードを押して、microSDカードが少し飛び出したら引き抜きます。

microSDカードをフォーマットする

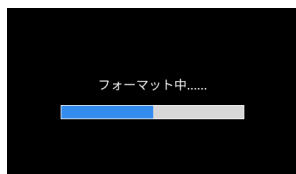
はじめて本機を使用するとき、または新しいmicroSDカードを使用するときは、microSDカードのフォーマット（初期化）が必要です。

確認画面が表示されたら、**[OK]**（上から4番目）ボタンを押し、フォーマット（初期化）を行ってください。



容量の大きいmicroSDカードをフォーマットする場合、処理に時間がかかる場合があります。

下記画面が表示されている間は、microSDカードを取り出したり、本機の電源をオフにしないでください。



録画する・写真を撮影する

本機には、電源オン時に「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の自動録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

車両のエンジン「オフ」時に「駐車録画」の機能があります。

音声を記録するかしないか、メニューの「音声記録設定」で選ぶこともできます。➔「音声記録設定」(P. 35)

録画可能時間は録画モードの設定によって変わります。➔「録画設定」(P. 36)

「明るさ」の設定で、撮影するときの映像の状態を前方・後方カメラごとに調整することもできます。➔「録画設定」(P. 36)





- 録画モードの設定を変更するとき、microSDカードのフォーマットが必要になります。microSDカードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合は、録画モードの設定を変更する前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

メインユニットとリアカメラの映像を切り替える

[OK]（上から2番目）ボタンを押すたびに映像は下記の順番で切り替わります。

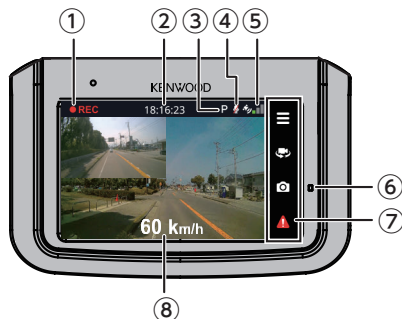


リアカメラが接続されていないとき、またはリアカメラが認識されていないときは、ボタンガイドのアイコンが「」になっています。この表示のときは映像を切り替えることはできません。また、画面には「」が表示されます。

リアカメラの映像について

- ・ 録画時：左右反転している鏡像（バックミラーと同じ）になります。
- ・ 再生時：正像で再生します。

録画・撮影画面のアイコン



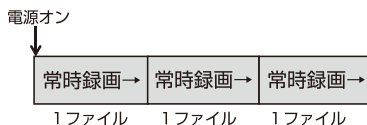
番号	表示	説明
①	●REC	録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
②	時:分:秒	現在時刻を表示します。
③	P	「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
④	音声記録 オフ	「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。
⑤	衛星受信 状態	GPSの受信状態を表示します。
⑥	LEDインジケーター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点灯(緑)：再生中、録画停止中、駐車録画待機中、メニュー表示中 ・ 交互点灯(緑/橙)：録画中
⑦	ボタンガイド	操作ボタンの機能を表示します。
⑧	km/h	現在の車速を表示します。

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間に分割して録画し、microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

1ファイルごとの録画時間は標準モード1分、長時間モード1で2分、長時間モード2で24分です。

※1ファイルあたりの録画時間は、撮影されるシーンによっては短くなる場合があります。





録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSD カード内の「Video」フォルダに保存されます。

➔ 「フォルダ/ファイル構成」 (P. 28)

イベント記録

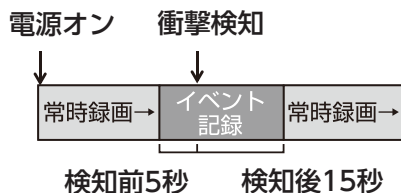
常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。

イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。

衝撃を検知した時点の常時録画ファイルがイベント記録ファイルとして保存されます（常時録画のファイルとしては残りません）。

1 ファイルの録画時間は最大20 秒（衝撃検知前5 秒と検知後15 秒）です。

イベント記録は手動での記録や、後方急接近検知でも記録することができます。



「イベント記録」が表示されます

録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSD カード内の「Event」フォルダに保存されます。

➔ 「フォルダ/ファイル構成」 (P. 28)

衝撃を検知する感度	お買い上げ時は「4」に設定されています。設定については、「録画設定」の「イベント感度設定」をご覧ください。➔ 「録画設定」 (P. 36)
-----------	---



- イベント記録が記録されたとき、ファイルを保存しておきたい場合は上書きしないようmicroSD カードをすぐに抜いてください。
- イベント記録が記録されたときは、イベント記録ファイルの後の常時録画ファイルにもイベント記録の映像が含まれていることがありますので、常時録画のファイルも必ずイベント記録ファイルと一緒に保存してください。
- 「Event」フォルダに保存されたファイルが最大数に到達すると、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。
- イベント記録中に[]（上から4番目）ボタンを押下するとイベント記録の延長ができます。また、[]（上から3番目）ボタンの押下で写真撮影をすることもできます。
- []（上から1番目）ボタンを2秒以上押し続けると、イベント記録中も電源をオフすることができます。

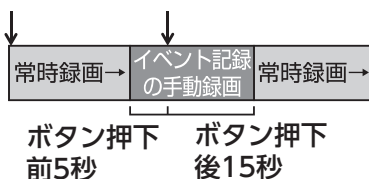
■ イベント記録を手動で開始する （手動録画）

常時録画中に[]（上から4番目）ボタンを押すと、常時録画を中断してイベント記録を開始します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。

1 ファイルの録画時間は最大20 秒（ボタン押下前5 秒と押下後15 秒）です。

イベント記録中に[]（上から4番目）ボタンを押すと、前の記録が終了後にさらに別ファイルで20秒録画することができます。

電源オン ボタンを押す





「イベント記録」が表示されます

録画ファイルの保存場所

イベント記録の手動録画ファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。

→「フォルダ/ファイル構成」(P. 28)

保存したい映像が「Event」フォルダに含まれていない場合は、直後に作成された「Video」フォルダも確認してください。



- 「Event」フォルダに保存されたファイルが最大数に到達すると、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

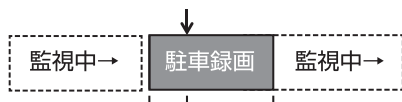
駐車録画

駐車録画機能を使用するには、本機の「駐車モード設定」、「電圧カットオフ値」、「オフタイム一設定」を行う必要があります。→「駐車モード」(P. 35)

エンジンをオフにすると駐車録画機能が待機中になり、車両の衝撃および撮影範囲内の動体を監視します。衝撃または動体を検知すると、駐車録画を開始します。駐車録画が終了すると、再び監視を開始します。

駐車録画ファイルの録画時間は20秒間（検知前5秒間と検知後15秒間）です。

衝撃または動体を検知



検知前5秒 検知後15秒

録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSDカード内の「Parking」フォルダに保存されます。

→「フォルダ/ファイル構成」(P. 28)

駐車録画が記録されたとき

駐車録画が記録されると、エンジンスイッチをオンにしたときに「駐車録画があります」と音声と表示で通知されます。



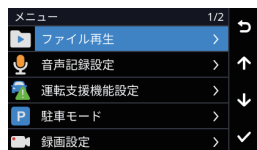
- 駐車モード中は電力消費を抑えるため、衛星受信を止めています。
 - 駐車モード中はLCD画面がオフになり、LEDは緑色に点灯します。
 - 乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画が動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知しても駐車録画を行わないようにするため、駐車録画を一定時間無効にすることができます。→「駐車モード」(P. 35)
 - 車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の [] (上から1番目) ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
 - 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が12.0V/24.0Vに満たない場合、駐車録画は動作しません。
 - 録画領域がなくなると録画ファイルは古いファイルから上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。
 - 駐車モード中にmicroSDカードを抜くと、駐車録画機能を停止して電源をオフします。
 - 夏場などの駐車モード中に車内が高温になると、本機は保護機能により駐車録画機能を停止して電源をオフします。直射日光が当たる場所や炎天下での駐車は避け、適度に換気を行ってください。
- ※保護機能で電源オフした日時は確認できません。

駐車録画機能をオンにする

駐車録画機能をオンに設定するときに、途中で「記憶域の割り当て」の設定が必要になり、microSDカードのフォーマットを行います。保存したいファイルがあるときはパソコンなどにファイルを保存してから設定を行ってください。

1 【】（上から1番目）ボタンを押す

メニューが表示されます。



2 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで「駐車モード」を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す



3 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで「駐車モード設定」を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す



4 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで「オン」を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す



5 「駐車録画用の録画領域がありません。記憶域の割り当てを設定してください。」と表示されたら、【】（上から4番目）ボタンを押す

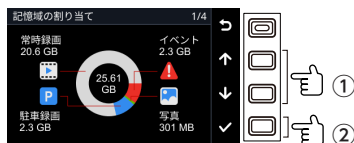
6 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで設定を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す

お買い上げ時は「4/4」に設定されています。記録時間および写真撮影枚数の目安は microSD カードの容量によって異なりますので、録画時間の目安をご確認ください。

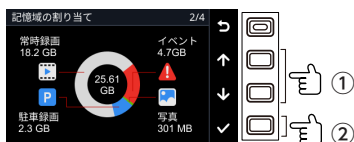
➔ 「録画時間の目安」(P. 25)

記録時間および写真撮影枚数は、撮影するシーンによっては少なくなる場合があります。

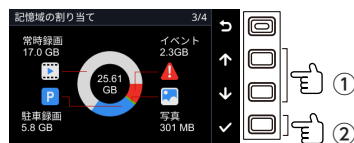
● 常時録画に容量を多く割り当てる (1/4)



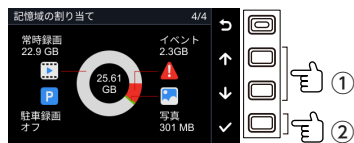
● イベント記録に容量を多く割り当てる (2/4)




● 駐車録画に容量を多く割り当てる (3/4)



● 駐車モードを使用しない (4/4)



- 「駐車モード」の「駐車モード設定」、「電圧カットオフ値」、「オフタイマー設定」、「検出方法設定」、「衝撃検出感度設定」、「動作検出感度設定」、「乗車前録画停止時間」、「降車後録画停止時間」で設定変更することができます。➔「駐車モード」(P. 35)
- 記憶域が1/4、2/4、3/4の設定では、常時録画中に  (上から3番目) ボタンを押し続けるだけで、駐車モードのオン/オフ設定ができます。



- 「記憶域の割り当て」の設定変更は、メニューの「システム設定」→「記憶域の割り当て」から行います。➔「システム設定」(P. 37)
- 割り当てを変更すると、microSDカードがフォーマットされるため、microSD カード内の録画ファイルが消去されます。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンなどに保存してから設定を変更してください。

7 「SD カードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」と表示されたら、 (上から4番目) ボタンを押す

フォーマットが開始され、「駐車モード」が「オン」に設定されます。

録画時間の目安

記録時間はメインユニットとリアカメラで同時に撮影したときの時間です。

記憶域の割り当て	microSDカード容量	録画モード	常時録画	イベント記録	駐車録画	写真
1/4 常時録画に容量を多く割り当てる	16GB	標準	約35分	約4分	約4分	約15枚
		長時間1	約70分	約8分	約8分	約15枚
		長時間2	約984分	約26分	約26分	約15枚
	32GB	標準	約68分	約8分	約8分	約29枚
		長時間1	約136分	約16分	約16分	約29枚
		長時間2	約1920分	約51分	約51分	約29枚
	64GB	標準	約138分	約16分	約16分	約59枚
		長時間1	約276分	約31分	約31分	約59枚
		長時間2	約3864分	約103分	約103分	約59枚
	128GB	標準	約277分	約32分	約32分	約118枚
		長時間1	約554分	約63分	約63分	約118枚
		長時間2	約7752分	約206分	約206分	約118枚
2/4 イベント記録に容量を多く割り当てる	16GB	標準	約31分	約8分	約4分	約15枚
		長時間1	約62分	約16分	約8分	約15枚
		長時間2	約960分	約53分	約26分	約15枚
	32GB	標準	約60分	約16分	約8分	約29枚
		長時間1	約120分	約31分	約16分	約29枚
		長時間2	約1848分	約102分	約51分	約29枚
	64GB	標準	約122分	約31分	約16分	約59枚
		長時間1	約244分	約63分	約31分	約59枚
		長時間2	約3744分	約206分	約103分	約59枚
	128GB	標準	約245分	約63分	約32分	約118枚
		長時間1	約490分	約127分	約63分	約118枚
		長時間2	約7536分	約412分	約206分	約118枚
3/4 駐車録画に容量を多く割り当てる	16GB	標準	約29分	約4分	約10分	約15枚
		長時間1	約58分	約8分	約20分	約15枚
		長時間2	約960分	約26分	約61分	約15枚
	32GB	標準	約57分	約8分	約19分	約29枚
		長時間1	約114分	約16分	約39分	約29枚
		長時間2	約1848分	約51分	約118分	約29枚
	64GB	標準	約114分	約16分	約39分	約59枚
		長時間1	約228分	約31分	約79分	約59枚
		長時間2	約3720分	約103分	約237分	約59枚
	128GB	標準	約229分	約32分	約79分	約118枚
		長時間1	約458分	約63分	約158分	約118枚
		長時間2	約7440分	約206分	約475分	約118枚

記憶域の割り当て	microSDカード容量	録画モード	常時録画	イベント記録	駐車録画	写真
4/4 駐車モードを使用しない (お買い上げ時の設定)	16GB	標準	約39分	約4分	駐車録画の記憶域はありません。	約15枚
		長時間1	約78分	約8分		約15枚
		長時間2	約1032分	約26分		約15枚
	32GB	標準	約76分	約8分		約29枚
		長時間1	約152分	約16分		約29枚
		長時間2	約1992分	約51分		約29枚
	64GB	標準	約154分	約16分		約59枚
		長時間1	約308分	約31分		約59枚
		長時間2	約4008分	約103分		約59枚
	128GB	標準	約309分	約32分		約118枚
		長時間1	約618分	約63分		約118枚
		長時間2	約8016分	約206分		約118枚

*常時録画の記録可能時間はmicroSDカードの残り容量で変わります。

*常時録画の記録時間は、使用状況によっては少なくなる場合があります。

写真を撮影する（静止画記録）

録画中に []（上から3番目）ボタンを押すと、メインユニットとリアカメラで同時に写真を撮影します。

記憶域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。



写真の保存場所

写真は、microSD カード内の「Photo」フォルダに保存されます。➡「フォルダ/ファイル構成」(P. 28)

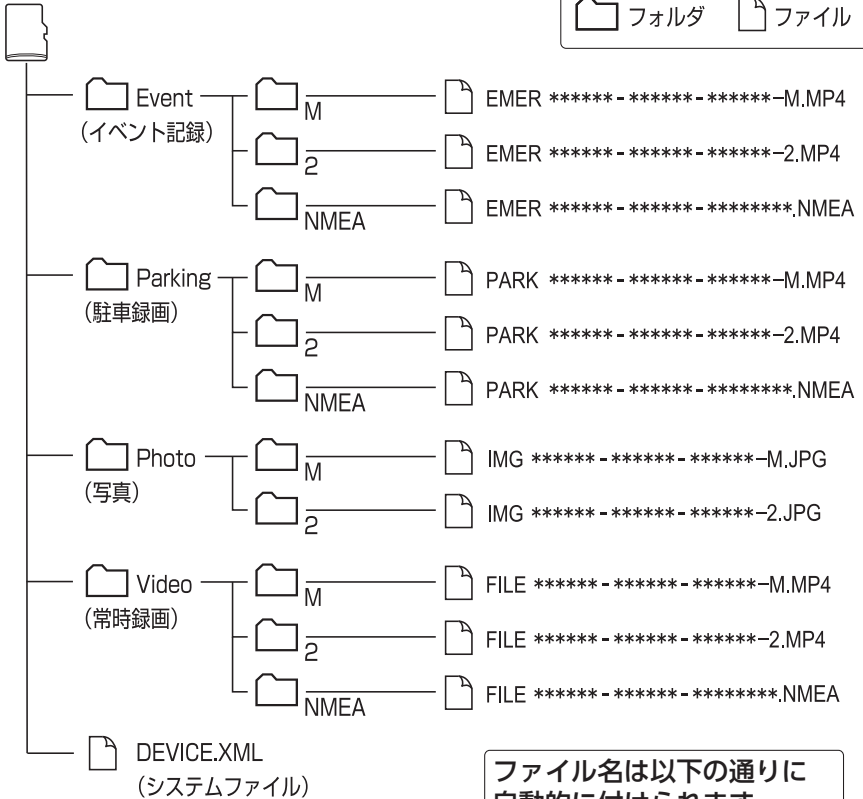


- 録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- メニュー表示中、駐車録画中などカメラアイコンが表示されていないときには写真を撮影できません。

フォルダ/ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。本機は独自システムにより録画ファイルを保存しているため、本機で記録した録画ファイルをパソコンなどでファイル削除やファイル名変更を行わないでください。また、フォルダへファイル追加を行わないでください。本機やKENWOOD ROUTE WATCHER IIで正しくファイルを再生できなくなります。

ルートフォルダ



● ファイル名の表記について

- GPSが正しく受信できないときのファイル名はGPSを最後に受信したときの日付と時間に近い表示になります。
- ファイル名の「-M」はメインユニットで録画したファイル、「-2」はリアカメラで録画したファイルです。

再生する

ファイル選択画面のアイコン

再生時のリアカメラ映像は、録画中の画面表示と異なり正像で再生されます。



番号	表示	説明
①	録画の種類	録画の種類を表示します。
②	年/月/日 時:分:秒	録画日時を表示します。
③	ファイルの順番/ ファイル総数	録画ファイルの最新ファイルからの順番/ ファイル総数を表示します。
④	ボタンガイド	操作ボタンの機能を表示します。
⑤	D	メインユニットとリアカメラの2つの映像が録画されています。
⑥	!	イベント記録のファイル

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

- 1 **[🔍]** (上から1番目) ボタンを押すメニューが表示されます。



- 2 **[🔍]** (上から2番目) ボタンまたは **[📁]** (上から3番目) ボタンで「ファイル再生」を選択し、**[🔍]** (上から4番目) ボタンを押す



- 3 **[📁]** (上から2番目) ボタンまたは **[📁]** (上から3番目) ボタンで再生したいフォルダを選択し、**[🔍]** (上から4番目) ボタンを押す



それぞれのフォルダには以下のファイルが保存されています。

- ・ **常時録画**：常時録画されたファイル
- ・ **イベント記録**：イベント記録されたファイルと手動で録画されたイベント記録のファイル、後方急接近警告で録画されたファイル
- ・ **駐車録画**：駐車録画されたファイル

- ・ 写真：撮影した写真（静止画記録）のファイル

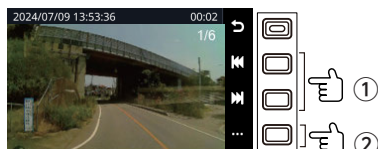
選択したフォルダ内にある最新のファイルがサムネイル表示されます。



- ・ 最新のファイルは左上に表示されます。
- ・ ファイルは、録画または撮影した時間順に並びます。

- 4 **[]**（上から2番目）ボタンまたは **[]**（上から3番目）ボタンで再生したいファイルを選択し、**[]**（上から4番目）ボタンを押す

選択したファイルの再生が始まります。



再生中に他のファイルを選択する	[] （上から2番目）ボタンを押すと前のファイルを、 [] （上から3番目）ボタンを押すと次のファイルを再生します。
早戻し/早送り	[] （上から2番目）ボタンを2秒以上押し続けると、早戻しします。 [] （上から3番目）ボタンを2秒以上押し続けると、早送りします。 手を離すと、再生に戻ります。

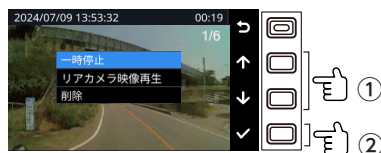
再生メニューの操作

- 1 **[]**（上から4番目）ボタンを押す

再生メニューが表示されます。



- 2 **[]**（上から2番目）ボタンまたは **[]**（上から3番目）ボタンで操作したい項目を選択し、**[]**（上から4番目）ボタンを押す



再生メニューでは以下の操作ができます。


再生/一時停止	[] （上から4番目）ボタンを押すと表示中のファイルを再生/一時停止します。 ※「写真」ファイルの再生中は表示されません。
リアカメラ映像再生/メインカメラ映像再生	[] （上から4番目）ボタンを押すとメインユニットとリアカメラの映像を切り替えます。 ※リアカメラを接続しないで録画したファイルの場合は表示されません。
リアカメラ写真再生/メインカメラ写真再生（写真ファイル再生時）	
削除	[] （上から4番目）ボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。もう1度 [] （上から4番目）ボタンを押すと、表示中のファイルが削除されます。

ファイル再生中は、映像または静止画面上にファイルの順番/ファイルの総数を表示します。



運転支援機能を使う

本機には「後方急接近警告」の運転支援機能があります。運転支援機能を使用する場合は、リアカメラの「カメラ位置調整」を実施して、「後方急接近警告」の設定を「オン（警告と録画）」にする必要があります。→「運転支援機能をオン/オフする」(P. 33)

機能/画面表示	機能説明
後方急接近警告 	走行中に後方5m以内に3秒以上車両が接近したことを検出すると、「後方車が接近しております。ご注意ください」と音声でお知らせし画面にアイコンを表示します。動作速度は30km/h、50km/h、70km/hから選択できます。逆光、夜間、悪天候など、条件によっては正しく動作しません。

※警告音/ 音声の音量を調整したいときは「システム設定」の「音量設定」で調整してください。
 →「システム設定」(P. 37)



- ・「録画モード」を「長時間 1」または「長時間 2」に設定している場合、「後方急接近警告」は使用できません。→「録画設定」(P. 36)

運転支援機能についてのご注意

- ・車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度と向きを必ず調整してください。また、カメラの位置がずれると、運転支援機能は正しく動作しません。調整後はカメラをしっかり固定してください。
- ・運転中にドライバーが調整することは絶対しないでください。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整するようにしてください。
- ・運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警報するものではありません。

- 運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - 天候（雨・雪・濃霧・ワイパーの使用など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
 - トンネルなどGPSが受信できない場合。
 - リアカメラのレンズに汚れが付着している場合。レンズは定期的に清掃してください。

リアカメラのカメラ位置を調整する

「後方急接近警告」を使用する場合は、「カメラ位置調整」の設定が必要です。



- 「カメラ位置調整」を設定しないと、運転支援機能が正しく動作しません。

- 1 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する
- 2 （上から1番目）ボタンを押す
メニューが表示されます



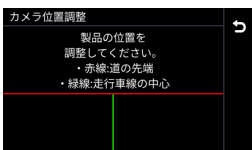
- 3 （上から2番目）ボタンまたは （上から3番目）ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、（上から4番目）ボタンを押す



- 4 （上から2番目）ボタンまたは （上から3番目）ボタンで「カメラ位置調整」を選択し、（上から4番目）ボタンを押す



- 5 リアカメラの位置を合わせる
リアカメラを上下に傾けて、赤線を道の先端（地平線）に合わせます。




リアカメラのカメラ位置の調整が完了します。






- 常時録画に戻るには、（上から1番目）ボタンを録画画面になるまで押します。
- メニュー画面のまま1分間操作をしないと常時録画に切り替わります。

運転支援機能をオン/オフする




- 1  (上から1番目) ボタンを押す

メニューが表示されます。






- 2  (上から2番目) ボタンまたは  (上から3番目) ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、 (上から4番目) ボタンを押す






- 3  (上から2番目) ボタンまたは  (上から3番目) ボタンで「後方急接近警告」を選択し、 (上から4番目) ボタンを押す




- 4  (上から2番目) ボタンまたは  (上から3番目) ボタンで「オン (警告と録画)」を選択し、 (上から4番目) ボタンを押す



- 5  (上から2番目) ボタンまたは  (上から3番目) ボタンで警告速度を選択し、 (上から4番目) ボタンを押す

運転支援機能の設定が完了します。



- 常時録画に戻るには、 (上から1番目) ボタンを録画画面になるまで押します。
- メニュー画面のまま1分間操作をしないと常時録画に切り替わります。
- メニュー画面のままエンジンをオフにすると、設定が記憶されません。

設定を変更する

各機能の設定を変更する

本機の設定を変更することができます。

1 【】（上から1番目）ボタンを押す

メニューが表示されます。



2 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで設定を変更したいメニューを選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す

選択したメニューが表示されます。



3 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで設定を変更したい項目を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す

選択した項目が表示されます。




4 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで設定を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す

設定が変更されます。



各項目の内容については、「メニューの一覧」をご覧ください。➡「メニューの一覧」(P. 35)



- 常時録画に戻るには、【】（上から1番目）ボタンを録画画面になるまで押します。
- メニュー画面のまま1分間操作をしないと常時録画に切り替わります。
- メニュー画面のままエンジンをオフにすると、設定が記憶されません。

メニューの一覧

* お買い上げ時の設定

■ ファイル再生

項目	設定	説明
常時録画	—	フォルダを選択して目的のファイルを再生します。また、ファイル再生中には、一時停止や削除などを行うことができます。➡「再生メニューの操作」(P. 30)
イベント記録		
駐車録画		
写真		

■ 音声記録設定

項目	設定	説明
音声記録設定	オン* オフ	録画時の音声記録機能を設定します。

■ 運転支援機能設定

項目	設定	説明
カメラ位置調整	—	運転支援機能を正しく機能させるためにリアカメラの位置を調整します。
後方急接近警告	オン (警告と録画) オフ*	後方車両が異常に接近してきたときに「後方車が接近しております。ご注意ください」と音声および警告表示でお知らせするとともに、イベント記録を開始する機能を設定します。
	後方急接近 警告速度	30km/h 50km/h* 70km/h

■ 駐車モード


駐車モードの設定を「オン」にすると、「電圧カットオフ値」、「オフタイマー設定」、「検出方法設定」、「衝撃検出感度設定」、「動作検出感度設定」、「乗車前録画停止時間」、「降車後録画停止時間」の設定ができます。

項目	設定	説明	
駐車モード設定	オン オフ*	駐車モード機能を設定します。	
電圧カットオフ値	12V車	12.0V* 12.2V 12.4V 12.6V	車両のバッテリー電圧が設定した電圧カットオフ値より下がった場合に、ドライブレコーダーの電源をオフにする設定値です。使用環境や車両の状態によって、設定電圧値は±2%程度の誤差が生じます。
	24V車	24.0V* 24.4V 24.8V 25.2V	





項目	設定	説明
オフタイマー設定	3時間* 6時間 12時間 24時間	エンジンを切った後、設定した時間でドライブレコーダーの電源をオフにする設定値です。設定時間より前に電圧カットオフ値よりも電圧が下がった場合、電圧値を優先してドライブレコーダーの電源をオフにします。タイマーは±10%程度の誤差が生じます。
検出方法設定	衝撃&動作検出* 衝撃検出	駐車モードの録画記録を開始する検知方法を設定します。 衝撃検出：車両の衝撃を検知します。 動作検出：撮影範囲内の動体を検知します。
衝撃検出感度設定	低 普通* 高	駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度：「低」（G値：0.4G）～「高」（G値：0.2G）を設定します。 低（検知しにくい）⇔高（検知しやすい）
動作検出感度設定	低 普通* 高	撮影範囲内の人や車両の動きなどを検知する感度を設定します。 低（検知しにくい）⇔高（検知しやすい）
乗車前録画停止時間	オフ* 30 秒 1 分 3 分	駐車モードがオンのときに、エンジンキー をオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする 時間を設定します。
降車後録画停止時間	オフ* 30 秒 1 分 3 分	駐車モードがオンのときに、エンジンキー をオフにしてから駐車録画を一定時間無効にする 時間を設定します。

■ 録画設定

項目	設定	説明
録画モード	標準* 長時間1 長時間2	録画時間を変更します。設定により、長時間の録画が可能になります。「長時間2」に設定すると「長時間1」より長い時間の録画が可能となりますが、「長時間1」よりも画質が低くなります。⇒「録画時間の目安」（P. 25） <ul style="list-style-type: none"> 変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。 「長時間1」または「長時間2」を選択すると、映像の動きがぎこちなくなります。また、運転支援機能の「後方急接近警告」が使用できなくなります。

項目	設定	説明
明るさ	前方	-3 -2 -1 0* +1 +2 +3 前方録画映像の露出（明るさ）レベルを選択することができます（マイナス：暗⇔プラス：明）。 ・ 映像が暗い場合はプラス方向に調整してください。逆に映像が明るい場合はマイナス方向に調整してください。
	後方	-3 -2 -1 0* +1 +2 +3 後方録画映像の露出（明るさ）レベルを選択することができます（マイナス：暗⇔プラス：明）。 ・ スモークガラスなどにより映像が暗い場合はプラス方向に調整してください。逆に映像が明るい場合はマイナス方向に調整してください。
イベント感度設定	 低 高	イベント記録の衝撃検知の感度：「低」（G値：3.0G）～「高」（G値：0.5G）を設定します。 低（検知しにくい）⇔高（検知しやすい）
情報記録設定	緯度 / 経度* G センサー値 記録しない	映像の右下に記録される情報（緯度/経度またはGセンサー値または記録しない）を選択します。記録された情報を削除することはできません。
速度情報表示	オン* オフ	映像の右下に記録される速度情報表示の設定をします。

■ システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。
日付/時刻設定	自動（衛星データ）* 手動	「自動（衛星データ）」の場合は「タイムゾーン」が「GMT+09：00」に設定されています。そのままの設定でご使用ください。 「手動」は日付と時刻を手動で設定できます。 []（上から2番目）ボタン / []（上から3番目）ボタンで数値を変更して []（上から4番目）ボタンで確定します。
システム音設定	オン* オフ	警告音およびボタン操作時の操作音を設定します。
音量設定		録画ファイルを再生するときの音量レベルを5段階（消音/1～5）で設定します。 警告音およびボタン操作時の操作音も変更されます。

項目	設定	説明
LCD表示時間設定	常時表示* 情報表示 10秒 1分 3分	常時録画の画面表示がオフになるまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のいずれかのボタンを押します。 「情報表示」は常時表示されます。
言語	English 日本語*	表示する言語を設定します。 • 「English」に設定すると、音声ガイドも英語になります。
記憶域の割り当て	1/4 2/4 3/4 4/4*	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を保存するための記憶領域を設定します。➡「駐車録画機能をオンにする」(P. 22) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。 • 変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
個人情報削除	—	個人情報 / プライバシー情報を消去します。必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。 • 実行すると録画された映像 / 音声 / 写真 / GPS 位置データを完全に消去します。データの消去が完了すると電源をオフします。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。 • 実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ フォーマット

項目	設定	説明
フォーマット	—	microSD カードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。➡「microSDカードをフォーマットする」(P. 39) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

LCD表示時間の設定を変更する

LCD表示時間の設定は「常時表示」、「情報表示」、「10秒」、「1分」、「3分」の5つから選択できます。

お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。

1 【】（上から1番目）ボタンを押す

メニューが表示されます。



2 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで「システム設定」を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す



3 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで「LCD表示時間設定」を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す



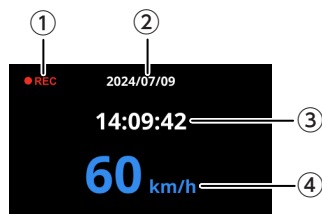
4 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで設定したい時間を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す

LCD表示時間の設定が変更されます。



■ 情報表示画面

「情報表示」に設定した場合、常時録画は10秒後、イベント記録は録画終了から10秒後に情報表示画面に切り替わります。



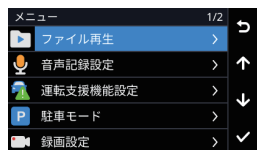
番号	表示	説明
①	●REC	録画アイコン（録画中、●アイコンが点滅します）
②	年/月/日	カレンダーを表示します
③	時:分:秒	現在時刻を表示します
④	km/h	現在の速度を表示します

microSDカードをフォーマットする

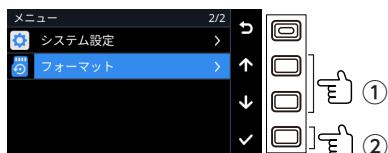
microSDカードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合はフォーマットする前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

1 【】（上から1番目）ボタンを押す

メニューが表示されます。

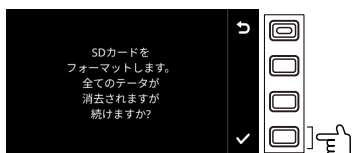


2 【】（上から2番目）ボタンまたは【】（上から3番目）ボタンで「フォーマット」を選択し、【】（上から4番目）ボタンを押す

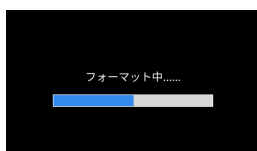


3 【】（上から4番目）ボタンを押す

microSDカードがフォーマットされます。



容量の大きいmicroSDカードをフォーマットする場合、処理に時間がかかる場合があります。フォーマット中の画面が表示されている間は、microSDカードを取り出したり、本機の電源をオフにしないでください。



- フォーマットしてもmicroSDカードエラーが表示され続ける場合は、新しいmicroSDカードと交換してください。
- microSDカードの抜き差しは電源が「オフ」の状態で行ってください。詳しくは「microSDカードを入れる/取り出す」（P. 18）をご覧ください。

パソコンツールを使う

ビューアソフト (KENWOOD ROUTE WATCHER II) は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

■ インストールする

インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

対応OS等の詳細は<https://>

www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/ をご覧ください。

なお、本機ご購入時点で対応しているOSであっても、今後のWindows/MacのOS更新に伴い、対応外となる場合があります。

1 <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んでインストーラーをダウンロードする

2 パソコンにインストールする

■ 録画ファイルの再生

1 microSDカードを本機から取り出し、カードリーダー（市販品）を使用してパソコンに接続する

2 KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動する



- KENWOOD ROUTE WATCHER IIの使いかたについては、KENWOOD ROUTE WATCHER IIの取扱説明書をご覧ください。
- MacのQuickTime Playerなどで再生するとmicroSDカード内のファイル構成が変更されてしまうため、そのmicroSDカードを本機に挿入するとフォーマットを要求されます。必要なファイルが保存されている場合は、パソコンにファイルを保存してからmicroSDカードを本機に挿入してください。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

● FAQ (よくあるご質問)



当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かなと思ったら」と合わせてこちらをご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

■ 共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/動作が不安定になっている。	本機に電源が供給されていない。	取扱説明書を参照して、電源ケーブルの接続を確認してください。
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	—	本体のRESETボタンを押してください。➡「ご使用について」(P. 11) ➡「RESETボタン」(P. 16)
microSDカードを認識しない。	microSDカードスロットにmicroSDカードが入っていない。	microSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。➡「microSDカードを入れる/取り出す」(P. 18)
	microSDカードがフォーマットされていない。	フォーマットを行ってからご使用ください。➡「microSDカードをフォーマットする」(P. 19)
	microSDカードの読み込み/書き込みができなくなっている。	microSDカードをフォーマットしてください。➡「microSDカードをフォーマットする」(P. 19)
	フォーマットしてもmicroSDカードエラーが表示される。	それでも症状が改善しない場合は、microSDカードを交換してください。
録画ファイルが見つからない。	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。
	16GBより容量が少ないため録画ファイルを作成できない。	容量が16GB～128GBのmicroSDカードをご使用ください。➡「本機で使用するmicroSDカード」(P. 12)
録画されたファイルの映像が鮮明でない。	レンズが汚れている。	柔らかい布などで乾拭きしてください。
	保護シートが剥がされていない。	取扱説明書を参照して、保護シートを剥がしてください。

症状	原因	対処方法
電源が切れない。	車種によっては、エンジンをオフしても、しばらく車両側のACC電源がオフされない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	ACC電源のオフを検知できない。	取扱説明書を参照して、配線に誤りがないか確認してください。
	「駐車モード設定」がオンになっているとLCD画面は消灯しますが、LEDインジケータの点灯（緑）は継続する。	「駐車モード設定」をご確認ください。➡「駐車録画機能をオンにする」(P. 22)
録画を開始するときに、「リアカメラが未接続です。フロントカメラだけで記録を開始します。」というメッセージが表示され、画面に「  」が表示されたままになる。	<ul style="list-style-type: none"> リアカメラが正しく接続されていない。 リアカメラケーブルが途中でかみ込みなどで断線している。 リアカメラケーブルのコネクタ（L型/ストレート型）の端子が汚れている。配線時などに汚れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 取扱説明書を参照して、リアカメラの接続を確認してください。 リアカメラケーブルの配線を確認してください。 汚れをふき取ってください。
リアカメラの映像に切り替わらない。		
リアカメラの映像が記録されていない。		
「ファイル再生」の選択画面で「  」が表示される。	何らかの原因で再生できないファイルが録画された。	<p>必要なファイルをパソコン等に保存してからmicroSDカードを本機でフォーマットしてください。</p> <p>➡「microSDカードをフォーマットする」(P. 19)</p> <p>それでも同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。</p>

■ 駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない。	「駐車モード」が「オン」になっていない。	「駐車モード設定」で駐車モードを「オン」にしてください。 ➔ 「駐車録画機能をオンにする」 (P. 22)
	ACC電源のオフを検知できない。	取扱説明書を参照して、配線に誤りがないか確認してください。
	microSDカードが挿入されていない。	正しい手順でmicroSDカードを挿入してください。 ➔ 「microSDカードを入れる/取り出す」 (P. 18)
	駐車録画中にmicroSDカードを入れ替えた。	正しい手順でmicroSDカードを入れ替えてください。 ➔ 「microSDカードを入れる/取り出す」 (P. 18)
	本機の電源を手動でオフにした。	本機の電源はオンのままエンジンスイッチをオフしてください。
	カットオフ電圧設定を高い電圧値に設定しているため、電源がオフされた。	カットオフ電圧設定の設定値を低くしてください。
	バッテリー電圧が低下している。 (目安としてバッテリー電圧が12.0V/24.0V未満の場合は駐車録画は正常に動作しません。)	カーバッテリーが劣化している可能性があります。カーバッテリー販売店にご相談ください。
	本機内部の温度が高温になっているため、保護回路が働いて駐車録画が停止している。	—
録画ファイルが見つからない。	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから、駐車録画機能をご使用ください。
「駐車録画があります」と音声ガイドされる頻度が高すぎる。	乗り降りやドアを閉めたときなどに、振動を検知して駐車録画が開始することがある。	駐車モードの「衝撃検出感度設定」で衝撃検知の感度を下げるか、もしくは「乗車前録画停止時間」および「降車後録画停止時間」の設定をしてください。 ➔ 「駐車モード」 (P. 35)

■ イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている。	<ul style="list-style-type: none"> 電源オン時のGセンサーの補正値が正しく設定されていない。 急な坂道を走行している。 正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。 平らな状態で電源を入れ直してください。 録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検知の感度を下げてください。➔「録画設定」(P. 36)
残したい映像が見つからない。	残したい映像がイベント記録時間に収まらなかった。	常時録画を保存しているフォルダから、イベント記録後に作成されたファイルを確認してください。

■ 運転支援

症状	原因	対処方法
運転支援機能が正しく動作しない。	調整がずれている。	「運転支援機能を使う」を参照して、リアカメラの位置を調整してください。➔「運転支援機能を使う」(P. 31)
	雨の日や夜間に走行している。	雨の日、夜間など、環境により正しく動作しないことがあります。
	衛星の信号を受信できない。	衛星の信号を受信できていないと、速度や車間距離などが正しく測位できないため、機能が正しく働きません。
	「リアカメラ位置調整」の設定がされていない。	「運転支援機能を使う」を参照して、「リアカメラ位置調整」の設定をしてください。➔「運転支援機能を使う」(P. 31)
運転支援機能が正しく動作しない。(設定が変更できない)	「録画モード」の設定で「長時間1」または「長時間2」が選択されている。	「録画モード」の設定で「標準」を選択してください。➔「録画設定」(P. 36)

■ 時計

症状	原因	対処方法
時計がずれる。	自動設定時、標準時間設定(タイムゾーン)がずれている。	標準時間設定を正しく設定してください。 日本の「タイムゾーン」設定は、「GMT+09:00」です。➔「システム設定」(P. 37)


■ KENWOOD ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
KENWOOD ROUTE WATCHER IIが起動しない。	管理者権限でのインストールをしていない。	管理者権限でインストールしてご使用ください。➔「パソコンツールを使う」(P. 41)

症状	原因	対処方法
リアカメラの映像がメインユニットの映像とリンクして再生されない。	最新のソフトウェアを使用していない。	最新のソフトウェアをダウンロードしてください。→「パソコンツールを使う」(P. 41)

表示メッセージと音声ガイド

一部のメッセージは、LCD画面へのエラー表示だけでなく、音声でもお知らせします。


メッセージ	原因	対処方法
フォーマットが必要なSDカードを検出しました。SDカードをフォーマットしますか？ 音声ガイド 「フォーマットが必要なSDカードを検出しました」	microSDカードが認識できる形式でフォーマットされていない。	[] (上から4番目) ボタンを押して、フォーマットを行ってください。
SDカードエラーです。新しいSDカードに交換してください。 音声ガイド 「録画を停止しました。表示されているメッセージを確認してください」	認識できないmicroSDカードが挿入されている。	本機で推奨するmicroSDカードへ交換してください。
SDカードエラーです。推奨のSDカードに交換してください。 音声ガイド 「録画を停止しました。表示されているメッセージを確認してください」	認識できないmicroSDカードが挿入されている。	本機で推奨するmicroSDカードへ交換してください。
SDカードの書込速度が低下しています。新しいSDカードに交換してください。 音声ガイド 「録画を停止しました。表示されているメッセージを確認してください」	microSDカードの書込速度が低下している。	本機で推奨するmicroSDカードへ交換してください。
SDカードの書込速度が低下しています。推奨のSDカードに交換してください。 音声ガイド 「録画を停止しました。表示されているメッセージを確認してください」	microSDカードの書込速度が低下している。	本機で推奨するmicroSDカードへ交換してください。
SDカードが入っていません。本機の電源をオフにしてSDカードを挿入してください。 音声ガイド 「SDカードがありません」	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードを入れていない状態で電源をオンにした。 microSDカードが抜けたことに気づかずに、microSDカード関連のメニュー設定を行った。 	microSDカードを入れてください。→「microSDカードを入れる/取り出す」(P. 18)

メッセージ	原因	対処方法
リアカメラが未接続です。フロントカメラだけで記録を開始します。 🔊音声ガイド 「リアカメラが接続されていません」	リアカメラが接続されていない。 リアカメラのケーブルが正しく接続されていない。 ケーブルの先端が汚れている。	取扱説明書を参照して、リアカメラを接続してください。 リアカメラのケーブルの接続を確認してください。 ケーブルの先端をきれいにしてください。
非対応のSDカードです。 🔊音声ガイド 「非対応のSDカードです」	推奨するmicroSDカード容量以外のmicroSDカードが挿入されました。	本機で推奨するmicroSDカード容量である16GB～128GBの容量のmicroSDカードをご使用ください。
駐車録画があります。 🔊音声ガイド 「駐車録画があります」	駐車中に駐車録画が行われました。	本機で再生するか、またはビューアソフトで確認してください。
本体に異常を検出しました。録画を停止します。 🔊音声ガイド 「本体異常により、録画ができません」	本機にて異常が発生し録画を停止しています。	お買い上げの販売店にご相談ください。
高温を検出したため、駐車監視を停止しました。 🔊音声ガイド 「高温を検出したため、駐車監視を停止しました」	本体内部の温度が高温になって保護回路が働いた。	直射日光の強い場所を避けて駐車してください。

LCD画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これはLCD画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これはLCD画面特有の現象で故障ではありません。
- LCD画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらい場合がありますが、故障ではありません。
- 極端に車内が高温から低温になると（直接エアコンの送風口を当てる）LCD画面がくもる場合があります。これは故障ではありません。しばらくすると回復します。長時間回復しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

商標について

- Windows、Windows Mediaは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、OS Xは米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc.の商標です。
- 本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
 - 2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合
- STARVIS および  は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

ソフトウェアについて

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Konatu Font

適用ライセンス：MIT License

Google Noto Font

適用ライセンス：SIL Open Font License 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

MIT License

Copyright (c) 2012 MASUDA mitiya

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

SIL Open Font License 1.1

Copyright 2018 The Noto Project Authors
(github.com/googlei18n/noto-fonts)

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26
February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR

OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社JVCケンウッド(以下、“ライセンサー”)が提供する本体組み込みソフトウェア(以下、“許諾ソフトウェア”)はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの“許諾ソフトウェア”に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この“許諾ソフトウェア”をご使用いただくものと致します。お客様(以下、“使用者”)が“許諾ソフトウェア”を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます“ソフトウェアに関する重要なお知らせ”を必ずご覧ください。

第1条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权(第3条第1項に定める例外を除く)を使用者に許諾します。

第2条 (使用权)

- 1.本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
- 2.使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは貸与することができません。
- 3.許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。
- 4.使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア(その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む)の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。

2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権を許諾した原権利者(以下、原権利者)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者若しくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

2. ライセンサーは“許諾ソフトウェア”について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとします。

第8条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

(1) 本契約に定める条項に違反したとき

(2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。

2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第11条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した日本国外への送信を含みます)はできないものといたします。

2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。

3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び日本国の法律(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザ、エンドユーザによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第12条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。

2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

主な仕様

■メインユニット

電源電圧	DC 14.4V/28.8V (8.5V~30V)
録画時消費電流 (最大)	330mA (0.9A)
駐車録画待機時消費電流	280mA
測位衛星	GPS/QZSS (準天頂衛星) /GLONASS
Gセンサー	イベント記録設定：6段階/駐車録画設定：3段階
液晶サイズ	2.7V 型 フルカラーTFT液晶
撮影素子	1/2.8型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約122° / 垂直：約63° / 対角：約149°
F値	F1.9
HDR機能	対応 (常時ON)
動作温度範囲	-10℃~+60℃
最大記録解像度	FullHD(1920×1080) (動画約207万画素)
フレームレート	27.5fps (標準)、13.7fps (長時間1)、1fps (長時間2)
記録方式	常時録画/イベント記録/手動録画/駐車録画
常時録画ファイル単位	1分 (標準)、2分 (長時間1)、24分 (長時間2)
録画フォーマット (動画)	H.264 (MP4)
録画フォーマット (静止画)	JPEG準拠(1920 × 1080)
記録映像再生方法	本体、もしくは専用ビューアーソフト対応 (当社ホームページよりダウンロード)
記録メディア	microSDカード 16GB~128GB対応 A1 以上
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 86mm/H : 56mm/D : 37mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ：最大86mm
質量 (重さ)	104g (ブラケット/ケーブル含まず、microSDカード含む)
電源ケーブル長	3.5 m ガラス管ヒューズ：φ6.4 X L30mm 0.5A (アクセサリコード) φ6.4 X L30mm 2A (バッテリーコード)

■ リアカメラ

撮影素子	1/2.8型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約122° /垂直：約63° /対角：約149°
F値	F1.9
HDR機能	対応（常時ON）
動作温度範囲	-10℃～+60℃
最大記録解像度	Full-HD（1920×1080）（動画約207万画素）
フレームレート（最大）	27.5fps（標準）、13.7fps（長時間1）、1fps（長時間2）
外形寸法（W）×（H）×（D） （突起物除く）	W：60mm/H：25mm/D：29mm ブラケット（テープ貼付け）装着時高さ：最大53mm
質量（重さ） （ブラケット/ケーブル含まず）	28g
リアカメラケーブル長	9.0m

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。